

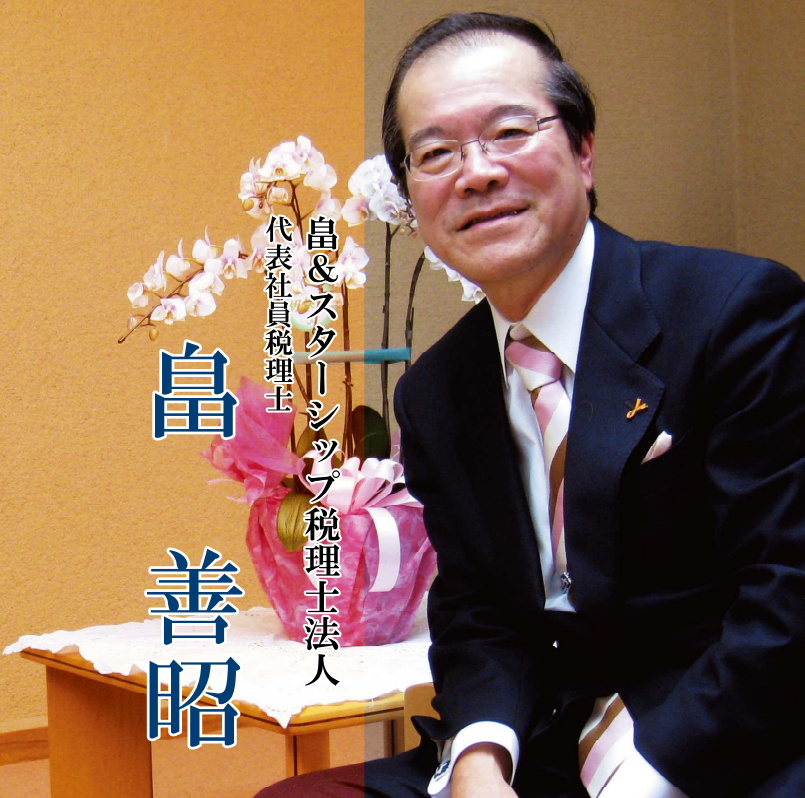
第1回 【特別対談企画】

澁谷工業 株式会社にみる

「理想的な事業承継」

◎はじめに

私もグループの会報誌発刊にあたって、グループの代表 島善昭と金沢経済同好会 元代表幹事の澁谷 亮治さんは経済活動を通じて親交があり、特別対談を開催させて頂くことになりました。代表は澁谷さんの先見力と洞察力また、仕事に対する姿勢にいつも共鳴しております。中小企業庁が真剣に取り組んでいる事業承継について二人の対談が行われ、その一部を皆様方にご紹介させて頂きます。



島&スターシップ税理士法人 代表社員税理士 島善昭

島善昭

「澁谷会長の先見力と洞察力、仕事に対する姿勢にいつも共鳴しております。」-島



澁谷工業 株式会社 代表取締役会長 澁谷亮治

澁谷亮治

「経営哲学の承継、社会やお客様の要望を引き出す聞き上手に徹する。それが、経営者の重要な役割。」-澁谷



澁谷 亮治さんは三代目経営者。昭和61年東証一部へ上場された、澁谷工業 株式会社 代表取締役 会長であり元金沢商工会議所副会頭、金沢経済同好会代表幹事で経済界・文化界では金沢が誇る第一人者であります。

【澁谷工業(株) 日訓】

- 一、今日一日喜んで働きましょう
- 二、今日一日己の善きを言わず
- 三、今日一日他の悪しきを言わず
- 四、今日一日機械と工具に感謝して働きましょう
- 五、仕事に実意丁寧を忘れず整頓に注意いたしましょう
- 六、姿勢は低く自信は高く持つて人に接しましょう
- 七、協力一致たのしい職場にいたしましょう

澁谷工業 株式会社 会社概要	
創業	昭和6年3月
設立	昭和24年6月
本社	石川県金沢市大豆田本町甲58
代表者	取締役会長 澁谷 亮治・取締役社長 澁谷 弘利
資本金	113億9,201万円(平成20年11月現在)
売上高	432億9,000万円(平成20年6月末現在)
従業員	1,350名[グループ全体2,400名](平成20年11月現在)
事業内容	ポトリングシステム、製函包装システム、物流搬送システム、製業設備システム、レーザー加工システム、ウォータージェット加工システム、水素ガス切断加工システム、半導体製造システム、洗浄設備システム、環境設備システム、農業設備システム、食品加工システム、医療機器の製作並びに販売

会社は、社会の一員であり企業市民である 社会と共存共栄して行くことが必要

この前、立教大学の山口義行教授の話を伺う機会がありました。山口先生は経営者の仕事は「活かす」「継ぐ」「問う」ことであると言いつつ、活かすは経営資源を活かすこと、継ぐは後継者へのバトンタッチ、問うはわが社の存在意義を問うこと、この話を聞きながら、最も経営者自身このことに自覚と責任をもつておれば回避できることばかりと思っていました。会長はこの「活かす」「継ぐ」「問う」をどのように分析されますか？

矢張り大学の先生です、その通りです。今、島さんが言われた通り企業のコンプレックスは、事業承継に失

ライアンスが求められ、経営者も会社も倫理観が問われています。会社は社会の一員であり企業市民です。社会の一員である以上当たり前のことですが、社会と共存共栄して行くことが必要で、山口先生の言われる3つのこと以外に、私はリスクマネージメントを上げた方がいいですね。万が一に備えた経営を経営者はしておかないと。

私の事業承継をした理由と背景

日本の企業数420万社のうち90%は中小企業であり、この中小企業で今、経営者の高齢化、後継者の確保困難、あるいは事業承継事前対策がないため、事業承継に失

経営者の仕事とは、

- 「活かす」=経営資源を活かす。
- 「継ぐ」=後継者へのバトンタッチ。
- 「問う」=わが社の存在意義を問い続ける。
- 「リスクマネジメント」=万が一に備えた経営をする。

敗、紛争になるケースがありますが、澁谷さんの場合はポトリングシステムで世界を誇る会社を弟さんである澁谷弘利社長に引継がれました。大企業と中小企業とは違いますが、後継者に引き継ぐ時の心境、覚悟を話していたければと思います。

私が社長を引き継いだのは四十四歳、弟に引き継いだのが五十四歳でした。十年間社長をして引き継ぎましたが、私は四十歳代で社長ができればと社長就任前に思っておりました。関係で、弟も五十歳代には自分が社長をしたいと思います。二歳下の弟に引き継ぐことを決めました。ある程度若い時に引き継げれば、万が一誰かが病気になる



なつても、すぐまた現役復帰はできませんからね。退く時は潔くと思いたすがなかなかそれができないかも。当時は私は商工会議所の副会長でもあり、私は経済活動に専念、弟は企業に専念と住み分けをしてきました。今、中小企業の後継者がいないとよく言われますが、そうではなく育てないと。任せないと人は育ちません。島さんがよく言われる「任

せたら関心を持ってど干渉しない」ことがルール。

せたら関心を持ってど干渉しない」こと。そうしないと社会に必要な企業まで、後継者不在で消えてしまう。寂しいことです。

反対に質問ですが事業承継は税務だけではないと思いますが、中小企業の事業承継で大事なことは大雑把に言ってどんなことですか？

成約率は現在まで73.3%です。またまった企業からは「販路拡大になった。これでハッピーライフできる」と喜ばれますが、何が会社や社員にとってベターな選択なのか検討してからでないとい

特に、贈与も暦年課税制度の贈与、精算課税制度の贈与、住宅贈与があり、一長一短がありますので。

「経営者の重要な役割」「後継者の選定と教育」

今日は中小企業の抱える問題点の中で事業承継の問題を話し合いましたが、今の社会に必要な企業は政府の方も税務面だけでなく、育成しようとしていることがよく解りました。

税務は、時間をかけて専門家とよく相談し計画を立てる、自分の会社や家族のことを考えながら遂行できますが、一番の要はやはり後継者の選定と教育ですね。

経営学は教えられても経営は教えられないから。島さんのところで後継者の教育をやられていますが、私も社会の一員として実学を教える必要はないと私は思います。

特に、経営哲学の承継や、社会やお客様の要望を引き出す聞き上手に徹する。それが経営者の重要な役割でもあり、経営精神は私も会社のスタッフで教えられます。

経営者の皆様方の仕事を広範囲に涉ってサポートさせて頂いていますので、経営者教育である「次代塾」「M&A」「企業再生」でもまだ、澁谷先生にお世話になることあると思います。そのときはまた、よろしくお願ひいたします。本日は貴重なお時間を頂きまして有難うございました。

中小企業の事業承継

中小企業の後継者がいないとよく言われるが、そうではない。育てること・任せることをしなければ、人は育たない。「任せたら関心を持ってど干渉しない」ことがルール。

事業承継のポイントは大きく分けて3つあると思います。1つ目は後継者対策(後継者の決定と育成) 2つ目は自社株対策(株主の把握と後継者への集中) 3つ目は相続税の対策(相続税は人生の年未調整であり、相続争いは勝つても負けてもお互いに不幸ですから、もめない対策をしっかりとすることです) この3つを、時間を味方に付けプランを樹てて対策をしていくことだと思います。時々、後継者がいなくて会社をM&Aで言われますが、私も今まで50件ほど仲介してきました。今でも沢山の「売りたい買いたい」との情報も持っており、その

「五年間の継続要件は」 ①代表者であること ②雇用の80%以上を維持すること ③相続した対象株式の継続保有

と、結構面倒な制度です。この相続税が免除される場合は後継者の死(その他一定の要件)です。納税猶予が認められても、相続税の申告期限から五年間は経済産業大臣のチェックが入ることになっています。慎重に現行相続税法と照らし合わせ顧問の税理士と相

「後継者の選定と教育」

今日は中小企業の抱える問題点の中で事業承継の問題を話し合いましたが、今の社会に必要な企業は政府の方も税務面だけでなく、育成しようとしていることがよく解りました。

税務は、時間をかけて専門家とよく相談し計画を立てる、自分の会社や家族のことを考えながら遂行できますが、一番の要はやはり後継者の選定と教育ですね。

経営学は教えられても経営は教えられないから。島さんのところで後継者の教育をやられていますが、私も社会の一員として実学を教える必要はないと私は思います。

特に、経営哲学の承継や、社会やお客様の要望を引き出す聞き上手に徹する。それが経営者の重要な役割でもあり、経営精神は私も会社のスタッフで教えられます。

経営者の皆様方の仕事を広範囲に涉ってサポートさせて頂いていますので、経営者教育である「次代塾」「M&A」「企業再生」でもまだ、澁谷先生にお世話になることあると思います。そのときはまた、よろしくお願ひいたします。本日は貴重なお時間を頂きまして有難うございました。



「五年間の継続要件は」 ①代表者であること ②雇用の80%以上を維持すること ③相続した対象株式の継続保有

と、結構面倒な制度です。この相続税が免除される場合は後継者の死(その他一定の要件)です。納税猶予が認められても、相続税の申告期限から五年間は経済産業大臣のチェックが入ることになっています。慎重に現行相続税法と照らし合わせ顧問の税理士と相